

内容は水産研究課ホームページでも公開しています。  
更新は、原則として火曜日夜間におこないます。

徳島県立農林水産総合技術支援センター  
水産研究課海洋生産技術担当

## 海況

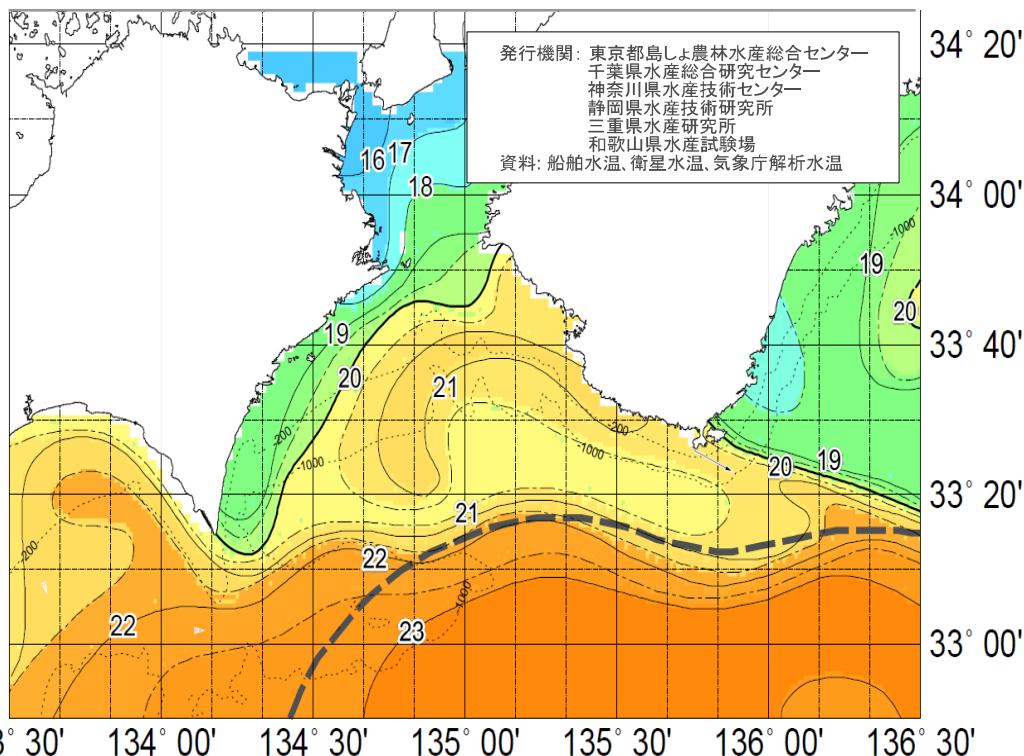
### 1. 周辺海域の水温

右に5月9日時点の海況図を示した。

九州の南東で発生した小蛇行が東進してきており、室戸岬沖で「著しく離岸」、潮岬沖で「やや離岸」となっている。

徳島県沿岸の水温は、播磨灘で15℃台、紀伊水道で15℃～18℃台、海部沿岸で17℃～19℃台となっている。

黒潮本流の表面水温は、平年並みかやや高めめの21℃～23℃台となっている。

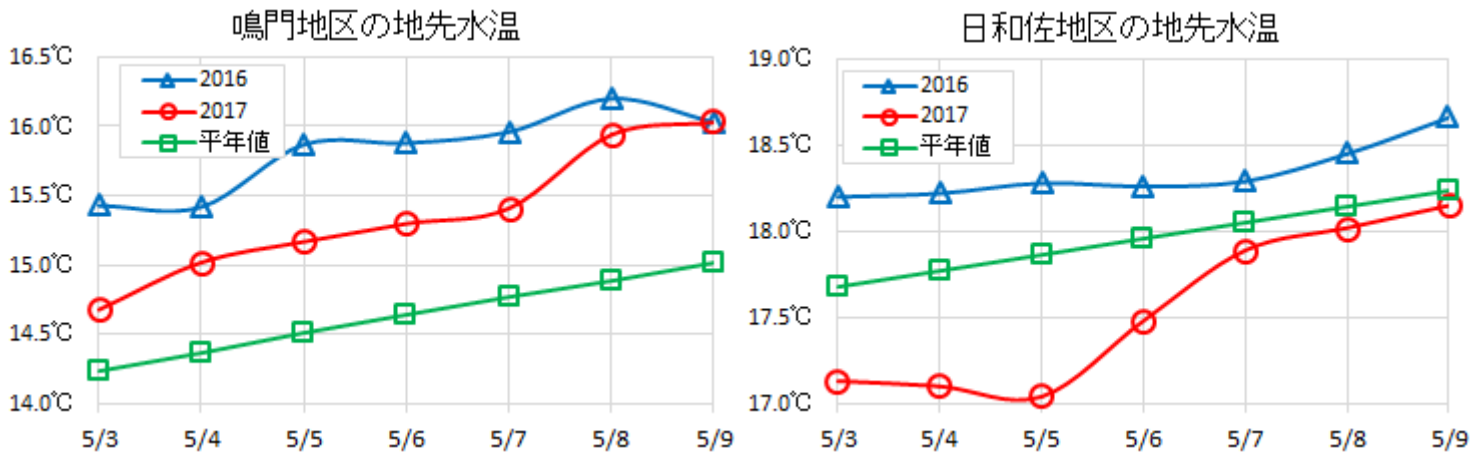


海況図は、平日夕方に水産研究課HPの「地先水温情報」のページに、前日分と当日分を掲載しています。

### 2. 地先水温(5月3日～5月9日)

鳴門地区の地先水温は、おおむね「やや高め」の14.7℃～16.0℃で推移した。

日和佐地区の地先水温は、5日まで「やや低め」の17.1℃前後であったが、7日にかけて大きく上昇し、以降は「平年並み」の17.9～18.2℃で推移した。



※水温の高低 平年並: 平年値±0.5℃未満, やや高め/やや低め: 平年値±0.5℃以上1.5℃未満  
高め/低め: 平年値±1.5℃以上2.5℃未満, かなり高め/かなり低め: ±2.5℃以上

※平年値 鳴門地区: 1981年～2015年の平滑平均値、日和佐地区: 1982年～2015年の平滑平均値

### 3. 週間予報(5月10日～5月16日)

黒潮は、室戸岬沖引き続き「著しく離岸」、潮岬沖は「やや離岸」で推移する見込み。

地先水温は、鳴門地区では「やや高め」の16℃台、日和佐地区では「平年並み」～「やや高め」の18℃台～19℃台前半で推移する見込み。

# 漁況

2017年5月1日～5月7日（旧暦4月6日～4月12日）

## 1. 紀伊水道(標本漁協数:3)

船びき網で出漁日数が増え漁獲量が大きく増えた。ほか漁業種類の漁獲量はおおむね前週並みで、延縄では大きく減った。

釣りでは、タチウオが前週並みの0.3ト水揚げされた。

延縄では、タチウオが大きく減って0.8ト、ハモが減って1.9ト水揚げされた。

小型定置網ではイサキが大主体に前週並みの0.9ト水揚げされた。

底びき網ではハモが増えて0.5ト、マダイが前週並みの0.4ト、クマエビが前週並みの0.4ト水揚げされた。

## 2. 海部沿岸(標本漁協数:4)

全体の水揚げは減った。

釣りでは、タチウオが減って0.8ト、マアジが増えて大主体に0.4ト水揚げされた。

小型定置網では、いわし類が引き続きマイワシ主体に3.6ト、マアジが1.1ト、水揚げされた。

大型定置網では、マアジが前週並みの15.4ト、ブリがめじろ主体に1.0ト水揚げされた。

漁獲量集計表(漁獲が0.2ト以上のものを抜粋)

海区	漁業種類	出漁隻数 (のべ)	魚種	漁獲量	(kg)	銘柄	前週比※
					1日1隻あたり 平均漁獲量		
紀伊水道	船びき網	108	シラス	64,125	594		↗↗
	釣り	8	タチウオ	284	36		→
	延縄	10	ハモ	1,871	187		↘
			タチウオ	844	31		↘↘
			サワラ	230	38	さごし主体	↘↘
	建網	41	カワハギ	402	10	大主体	→
	小型定置網	15	イサキ	932	62	大主体	→
			ボラ	586	53	大主体	↗↗
			マアジ	317	14		↗
			ブリ	217	14		↗↗
	底びき網	21	ハモ	464	22	中主体	↗
			マダイ	383	35		→
			クマエビ	377	19		→
海部沿岸	釣り	15	タチウオ	807	54		↘
			マアジ	357	13	大主体	↗
	小型定置網	13	いわし類	3,602	277	マイワシ主体	↘
			マアジ	1,139	41		→
			かます類	589	26		→
			マルソウダ	287	22		↘↘
	大型定置網	3	マアジ	15,371	5,124	大主体	→
			ブリ	1,033	344	めじろ主体	↘↘
			マルソウダ	907	302		↗↗
			マダイ	341	114		↘↘
チダイ			300	100		→	
ヒラマサ			230	77	大主体	↘↘	
かます類	213	71	中主体	↘			

※ 前週比 200%以上:↗↗ 120-200%:↗ 80-120%:→ 50-80%:↘ 50%未満:↘↘